

紀の川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～本州最多雨地帯下流の狭窄部（岩出・藤崎・小田）の解消をはじめとする一体的な豪雨対策の推進～

- 紀の川では上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、関係市町村が一体となって、「流域治水」を推進する。治水上の弊害となっている狭窄部（岩出・藤崎・小田）の対策や堤防整備、河道掘削等を進め、洪水調節施設としての大滝ダムの治水容量を最大限活用させることにより、洪水氾濫による被害を防止する。また、支川の改修や内水被害対策として、農業用排水路や雨水ポンプ場の更新・整備を進めるとともに、流出抑制対策としての森林整備や避難体制を強化するための対策として水位計・監視カメラ、避難所への誘導體制や警報設備の拡充などを実施していく。
- 【短期】岩出狭窄部対策の完了に引き続き、藤崎狭窄部対策に着手。森林整備や避難体制の強化に係る対策を随時実施していく。
- 【中期】藤崎狭窄部対策を含む紀の川本川中流域の改修が概成。継続して支川改修を実施する中で、和歌山市内の永山川・平尾川の対策や内水氾濫対策として、和歌山平野農地防災事業による農業用排水路、排水機場の整備が完了。
- 【中長期】紀の川本川において戦後最大洪水規模（昭和34年伊勢湾台風）の流量を安全に流下させるための改修が完了。継続して支川改修を実施する中で紀泉圏域、貴志川圏域の改修が概成。



気候変動を踏まえた更なる対策を推進

【事業費（R2年度以降の残事業費）】

| |
|---|
| ■河川対策 全体事業費 約609億円 ※1 対策内容 堤防整備、河道掘削、狭窄部対策 等 |
| ■下水道対策 全体事業費 約60億円 ※2 対策内容 下水道管渠の整備、排水機場・雨水ポンプの更新・整備等 |
| ※1：直轄及び各圏域の河川整備計画の残事業費を記載 ※2：各市町における下水道事業計画の残事業費を記載 |

※現時点での計画であり、整備状況等により変動する場合があります。
※点線は中長期より後に継続して行う事業です。